

【公募】

九州大学大学院芸術工学研究院ストラテジックデザイン部門教員（准教授1名）の募集について

このたび、九州大学大学院芸術工学研究院ストラテジックデザイン部門では、下記のとおり教員を募集します。

1．求人件名：准教授の公募（情報科学・マルチメディアデザイン分野）

2．機関名：国立大学法人 九州大学（URL <http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/>）

3．部署名：大学院芸術工学研究院ストラテジックデザイン部門
（URL <http://www.design.kyushu-u.ac.jp/>）

4．募集人員：准教授1名

5．担当予定授業科目：

所属する学府、学部の教員と相談のうえ、専門に応じた授業科目や実習を担当して頂きます。

担当学府：ストラテジックデザインコース

担当学部：メディアデザインコース

6. 業務内容

令和6年度文部科学省概算要求採択事業「総合知が先導するマルチバース社会デザイン研究拠点の形成（令和6年度から5年間）」に関する研究に従事して頂きます（事業の詳細は添付資料を参照のこと）。その他、教育や管理運営業務についても相談のうえ、担当して頂くことがあります。

7．勤務地：九州大学大橋キャンパス

〒815-8540 福岡市南区塩原4丁目9番1号

（ただし、科目によっては伊都キャンパス等他キャンパスで行う場合があります。）

8．雇用期間：2024年12月1日～2029年3月31日まで

ただし、この期間の研究・教育実績により、任期のない教員に登用する場合があります。

9．着任時期：2024年12月1日予定

10．応募資格（その職に求められる具体的な条件）：

芸術工学への深い関心と理解があり、次の条件を満たす教育・研究のできる方。

- 1) 博士の学位、または同等の実績を有すること
- 2) 情報科学・マルチメディアデータ活用の分野におけるメタバース関連技術(ゲームコンテンツ、XRコンテンツ等)について、優れた研究開発業績を有すること
- 3) メタバース空間を含む新しい環境への人類の適応研究において、関連する研究開発者・実務家のネットワークを構築し、マルチバース環境のデザインを推進できること
- 4) 産学官連携等の実績を有することが望ましい
- 5) 管理運営業務に協調的に参画できること

1 1 . 待遇 :

- 1) 賃金 : 年俸制 (令和 2 年 4 月 1 日導入の年俸制) が適用されます。

なお、年俸額については経験等に基づき本学の関係規程により決定します。

(参考) 職位別年間給与の分布状況 (令和 4 年度)

・准教授 平均年齢 49.0 歳 年間給与額 平均 886 万 7 千円

詳しくは九州大学 HP に掲載の公表事項の法人情報をご覧ください。

(<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/publication/corporation/>)

- 2) 就業時間 : 専門業務型裁量労働制により 7 時間 45 分働いたものとみなされます。
- 3) 休日 : 土日、祝日、年末年始 (12 月 29 日 ~ 1 月 3 日)
- 4) 加入保険 : 雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金

1 2 . 提出書類 : 次の 1 1 種類の書類を作成し提出してください。

- 1) ~ 7) の様式は下記 URL よりダウンロードのこと。

<https://storage.design.kyushu-u.ac.jp/public/r3qQwA4J2UtAL4ABiXNo8QhaESk0dmlLpxsUKdcvrxsw>

- 1) 履歴書
- 2) 教育研究業績書
- 3) 研究指導関連業績調書
- 4) 教育にかかる活動状況
- 5) 学会および社会における活動等 (所属学協会及び役職・委員歴、主要な会議での委員歴など)
- 6) 科学研究費・共同研究・受託研究等競争的研究資金の獲得状況 (代表分)
- 7) 社会貢献・国際貢献についての業績リスト
- 8) 主要論文の別刷り (5 編以内、各 1 部、コピー可)
- 9) 応募者について意見を伺える方 2 名以上の氏名、所属および連絡先 (様式なし)
- 10) これまでの研究概要 (様式なし : A4 用紙に 2,000 字程度)
- 11) 芸術工学の教育研究活動に対する抱負 (様式なし : A4 用紙に 2,000 字程度)

これらの応募書類以外に資料等があれば、同梱にて送付してください。

作品は写真等に加工してください。

原則として、応募書類は返却しません。

応募書類・資料等に含まれる個人情報は、本教員選考以外の目的で使用することはありません。

13. 書類宛先・問い合わせ先：

〒815-8540 福岡市南区塩原 4-9-1 九州大学大学院芸術工学研究院

ストラテジックデザイン部門 准教授 松隈 浩之 宛

E-mail: kuma@design.kyushu-u.ac.jp

電話：092-553-4432

件名を「教員応募書類添付」としてメールにてご送付ください。

応募書類を受け取った旨の返信が無い場合は、九州大学芸術工学部庶務係（092-553-9499 gkssyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp）にお問い合わせください。

14. 募集期間：2024年5月10日から2024年7月9日まで（17時必着）

15. 選考方法等：

応募書類により選考します。

なお、選考の過程で面接を実施することがありますが、その際の交通費等は応募者負担です。

備考

○九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り、教員の選考を行っています。（男女共同参画推進室 <https://danjyo.kyushu-u.ac.jp/>）

教育研究の能力・業績が同等と見なされる場合は、女性、もしくは、外国人を優先します。

九州大学では、国際化を推進する観点から、英語による授業を実施することが必要な場合があります。

九州大学では「障害者基本法（昭和45年法律第84号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）」の趣旨に則り、教員（職員）の選考を行います。

九州大学では、平成29年7月より配偶者帯同雇用制度を導入しています。

○過去に学生に対するセクシャルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分等を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を履歴書等に必ず記入願います。虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となることがあります。

令和6年度文部科学省概算要求採択事業

事業名：総合知が先導するマルチバース社会デザイン研究拠点の形成

期 間：令和6年4月から5年間

概要

コロナ禍は世界的にオンライン環境の整備を加速させ、人類が築き上げた社会・物理環境は大きく変化した。特にインターネット上に仮想的に構築されるメタバース空間は、時間、空間、身体性から人類を解放した。コロナ収束以降も従来の現実空間を基盤とした社会への復帰ではなく、オンライン環境で得られた利点を併用し、現実空間と仮想空間が融合したマルチバース社会のデザインが重要である。そのためのハード、ソフトを含む利用環境構築に加え、教育やビジネスを発展させるコンテンツやサービスデザイン等が必要となる。

一方、仮想空間での活動に関する研究は黎明期であり、利用時間が長くなると、現実空間における運動量や生理機能の低下、睡眠不足、あるいは仮想空間そのものへの嫌悪（テクノフォビア）による不応等、様々な問題が危惧される。従って、そのような問題が顕在化する前に、仮想空間と現実空間の融合によるメリットを最大化し、逆にそれらの齟齬がもたらすデメリットを最小化させる、未来社会の在るべき姿を科学的根拠に基づきデザインすることが急務である。

そこで本事業では、本学の未来社会デザイン統括本部と連携し、九州大学の持つ総合知を生かし関連企業との連携も図りながら、マルチバースデジタルコンテンツを利用するためのハードウェアや人とコンテンツをつなぐインタフェイスの開発研究（マルチバース環境・サービス構築ユニット）、マルチバース社会で生活するヒトのストレスや生理機能、快適性、感情等、コンテンツのメリット・デメリットを生理的及び人類学的な視点から科学的に検証する（マルチバース社会への適応研究ユニット）。それによって、仮想と現実を往来するマルチバース社会を生きる人類が、本来の機能や健康を維持しつつ、新たな価値、多様な幸せ（Well-being）を獲得するために必要なデザインを研究・実装する「マルチバース社会デザイン研究拠点」を形成する。

マルチバース社会デザイン研究拠点

▶ マルチバース社会構築ガイドライン策定
マルチバース人類学の確立

現代社会における物理環境への適応研究と卓越したデザイン力をマルチバース環境に拡張する研究拠点

マルチバース環境・サービス構築ユニット

マルチバースデジタルコンテンツを利用するためのネットを含むハードウェア環境、および人とコンテンツをつなぐインタフェースの開発研究をおこなう。

- 利用環境デザイン
- コンテンツデザイン
- サービスデザイン

構成員の専門分野

コンテンツデザイン、バーチャルリアリティ、ナラティブデザイン
機能工学、感性工学、都市デザイン、社会包摂デザイン
教育デザイン、情報科学、産業マネジメント、臨床心理

ヒトの生理
情報・生体
試料を取得

検証結果を
適応

マルチバース社会への適応研究ユニット

マルチバース社会で生活するヒトのストレスや生理機能、快適性、感情等、コンテンツのメリット・デメリットを科学的に検証する。

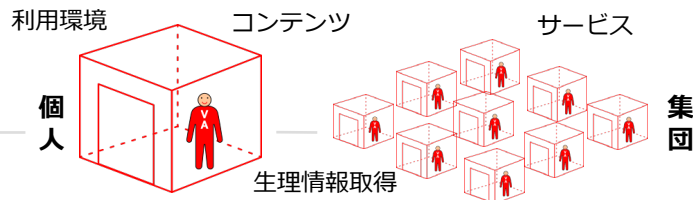
データ集約・解析によるマルチバース社会への 適応メカニズム解析

構成員の専門分野

生理人類、進化人類、環境生理、人間工学、感性科学
時間生物、睡眠科学、視覚生理、心理物理、発達心理
リハビリテーション、看護学、内視鏡学、微生物学

マルチバース空間の利用環境 を製作する技術開発を主導

web3.0以降の社会において現実と仮想を掛けあわせた空間、コンテンツ、サービス等を従来の専門家と共に自ら構築し、特にDX関連のソリューションに必要となる技術に精通した人材。併せて、企業と連携したビジネスモデルへの橋渡しとそのコーディネートができる人材。



データ集約・解析による 適応メカニズム解析を主導

ヒトの生理情報・生体試料と分子進化的解析・バイオインフォマティクスを用いて、個体から集団レベルでダイナミックに解析できる人材。併せて、メタバース空間を含む新しい環境への適応に関する学内外の研究者連携を構築できる人材。

